

# 平成 30 年度 第 1 回大津町都市計画審議会 議事概要

---

【日 時】平成 30 年 5 月 28 日（月）13：30～15：20

【場 所】大津町役場 大会議室

【出席者】出席：坂本 秀徳会長、田中 智之委員、津田 桂伸委員、荒木 俊彦委員、  
永田 和彦委員、佐藤 真二委員、工藤 智之委員、森 博昭委員、西本 哲治委員、  
吉良 登美雄専門委員、美野 洋一専門委員、本田 純一専門委員

欠席：府内 隆博委員

事務局：大田黒土木部長、村山都市計画課長、齊藤課長補佐、蔵森

玉野総合コンサルタント株式会社：福満、中本

【次 第】

1. 開 会

2. 委員及び事務局紹介

3. 議題

- ・進捗状況説明及び今後のスケジュールについて
- ・平成 29 年度第 1 回都市計画審議会での指摘事項とその対応について
- ・現況、上位関連計画、住民意向調査について
- ・基本構想について
- ・全体構想について

別 紙

資料 1

資料 2

資料 2

資料 2 資料 3

4. 閉会

【資 料】

別 紙 都市計画審議会委員名簿、策定検討委員名簿、策定スケジュール

資料 1 平成 29 年度 大津町都市計画審議会 議事概要

資料 2 都市計画マスタープラン改定版（第 6 章まで）

資料 3 施策一覧

----- 議 事 概 要 -----

○議題

**進捗状況説明及び今後のスケジュールについて**

(質疑なし)

**平成29年度第1回都市計画審議会での指摘事項とその対応について**

頁	委員からの意見概要	対応概要
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>議事録は支障の無い範囲で公開することになっているが、どのように対応するのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局としては最後にまとめて資料1として提示している議事録を公開しようと考えています。</li> <li>個人に影響する内容が今後出てくる可能性があるため、途中で公表すると議事の進行に支障が生じる可能性があります。そのため、全ての会議が終了した時に、ホームページでまとめて公表したいと考えています。</li> <li>公表時期は再度検討して報告させていただきます。</li> </ul>

**現況、上位関連計画、住民意向調査について**

(質疑なし)

**基本構想について**

頁※	委員からの意見概要	対応概要
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的に、人口は減少し高齢化が進み、財政状況も厳しくなっている。そうした中で、大津町が拡大路線にあるのはいかなものか。町の財政面も心配。住民の安全・安心を優先にしてはどうか。</li> <li>20年後を見据えたとき、美咲野は人口が増加すると思うが、南部の中島あたりは衰退し格差が大きくなるのでは。</li> <li>国の社会保障費が増加し、建設投資額が縮小すると予測されているので、過大な期待は避けたほうが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2040年にかけて、県全体では84%に減少することが予測されます。増加するのは合志市、大津町、菊陽町のみです。最も減少すると予測される山江村は44%の減少となります。</li> <li>人口が増加するのが3市町と少なくなるので、予算の奪い合いが少なくなるかもしれません。</li> </ul>
P94	<ul style="list-style-type: none"> <li>P94の将来都市像が非常に大事。</li> <li>広域と大津町がどのようにつながるかイメージできるように、広域を対象とした図面を追加すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域ネットワークについては広域図を追加するなどして対応します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部と南部は今後人口が減っていく。菊陽町では南北軸が3本あるが、大津町は将来都市構造図(P94)に南北軸が一本しかない。南北軸を強化すべき。</li> </ul>	

※今回配布資料のページ番号を示す

頁	委員からの意見概要	対応概要
一	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 将来を考えると、開発を抑制し、高齢者福祉政策を充実させ、高齢者をまちに溶けこまそうにしていくべき。</li> <li>• 具体的に計画があったほうが良い。</li> <li>• 将来都市像は、基本方針の「守ろう」「磨こう」「創ろう」を絡めて設定しているが、連携がどうなって、どうコンパクトシティにしていくのか、都市計画との関連が分かるようにすべき。</li> <li>• 大津町が目指すまちを具体的に示すべき。そうしないと住民との合意形成は難しくなる。</li> <li>• 都市計画審議会ではあるが、大きな視点で福祉との連携にも配慮するようにとの意見であった。抽象的にしておいたほうが拡大解釈できて良い場合もあるが、具体的に示したほうが良いという考え。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 将来像は、町の高齢者福祉計画もあるので追加します。</li> </ul>
一	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中部だけに集めるのではなく、南北の郊外でも快適に暮らせるようにしていくべき。コンパクトなまちづくりについて確認したい。</li> <li>• コンパクトシティとは、まちを一箇所に集めようとするものか、行政機能を中心に集め、郊外での居住を許容するものなのか。</li> <li>• 大津形のコンパクトシティを示してはどうか。</li> <li>• 高齢者は今後運転免許を返上していくと思うので、郊外での生活を守るためにはマイクロバスなどの交通手段が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 財源が厳しくなっていくので、的を絞って投資を実施していくイメージです。</li> <li>• バスが通らないところには、乗り合いタクシーなどを運行しています。</li> <li>• 発言の多くは、全体構想に関連するので、全体構想で説明させていただきます。</li> </ul>

### 全体構想について

頁※	委員からの意見概要	対応概要
一	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 財政的な制約から行政にできることは限界があるので、行政が自らしていくべきこと、行政が住民を支援していくべきこと、住民自らしていくべきことを明確にすべき。</li> <li>• 北部や南部では、自分たちでできることはやっているが、中部では行政に依存する傾向にあるかもしれない。町長が地域住民に言っているように、自分たちでできることはやっていくべき。</li> </ul>	
P96	<ul style="list-style-type: none"> <li>• P95の立地適正化計画は、利便性の高い区域へ居住や都市機能を誘導するとあるが、利便性の悪いところから利便性の良いところに行けと言っているように思える。表現がストレートすぎるので修正してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 田舎から都会へ移転させるものかと国へ聞いたことがあります。そうしたものではありません。</li> <li>• 農振農用地以外は開発が行われやすく市街地が広がっているので、こうしたところで適用することを想定して記載しました。</li> </ul>

※今回配布資料のページ番号を示す

頁※	委員からの意見概要	対応概要
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好な市街地を形成するために開発時の基準等を示す開発事業等指導要綱の見直しとあるが、どのように見直すのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業にとって良好な創業環境を誘導するために準工業地域を指定してきたが、住宅が立地し始めている地域があります。こうした地域では、準工業地域から第一種又は第二種住居地域へ変更すべきと考えますが、それでも難しいと思うので、開発指導要綱の見直しや指導の徹底で対応していきたいと考えています。</li> </ul>
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>南北と中央の格差について踏み込めていないので、地域別構想で整理していくことを記載してはどうか。</li> <li>近隣市町村との連携とあるが、周辺の各市町村が何を目指し、そうした中で大津町が何をめざすことで連携が可能になるか。そうした内容がどこかにあってもよいと思う。</li> </ul>	
P95	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体構想が、すぐに分野別の内容になっているので、前段に全体に関する内容を挿入すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体構想の前段に全体に関する内容を追加させていただきます。</li> </ul>
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画とは。</li> <li>強制力はないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画とは、人口や財政が減少する中で、財政支出を抑制するために、市街地をコンパクトにしようということで制度化されました。都市機能や居住を誘導する区域を定め、その区域外で開発が行われる場合は緩やかに区域内に誘導しようとするものです。</li> <li>誘導区域外で行われる該当する開発については、届出は義務付けとなるが、建てることをやめさせる強制力はありません。</li> </ul>
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>J Rの空港への延伸についての話はあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町長にそうしたイメージはあるようですが、県に要請したという話は聞いておりません。</li> </ul>
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校の校区の再編についての話はあるのか。</li> <li>大津高校は阿蘇の受け皿になっているので、かなり厳しいと聞いたことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に聞いておりません。校区を廃止すると、大津北中学校から大津高校へ行く人が減るので心配していると以前の町長が話をしておりました。</li> </ul>
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>肥後大津駅から空港までの定時制が確保されていれば、大津町での宿泊者は増加するのではないかと町長と議論したことがある。定時性が、絶対的なものではないので、20年後を見据えることが難しい。</li> </ul>	

※今回配布資料のページ番号を示す